

アジア・アフリカ ラテンアメリカ

今月の読み物	■2面	大会の発言から 奈良 AALA
	■3面	シリアとイラン問題
	■4~5面	第1回常任理事会開催
	■6面	日本軍「慰安婦」問題
	■7面	列島 AALA
	■8面	10.12集会、わたしと AALA

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会機関紙

2013年11月1日 No.640

シリアへの軍事攻撃を阻止



(上) 9月27日の国連安保理は、シリア問題の決議を全会一致採択—中央は潘・基文国連事務総長 (UN Photoより)
(関連記事は3頁)



(右) 元日本軍「慰安婦」をむかえて院内集会をひらく (関連記事は6P)

日本AALA新春企画

2014年
1月9日~12日

辺野古新基地建設許すな！ 安保破棄・米軍基地撤去めざす連帯ツアー

米軍事同盟の強化を進める安倍内閣は、沖縄へのオスプレー配備と共に名護市の辺野古に新基地建設を推し進めようとしています。沖縄の皆さんは、これらに反対し頑張っています。

そして、1月19日には、辺野古の新基地建設に大きな影響力を持つ名護市長選挙があります。

安保条約を破棄し、非核・非同盟に日本の建設を目指す日本 AALA としては、2014年の幕開けの運動として、たたかう沖縄のみなさんと連帯し支援するツアーを、1月9日から12日におこないます。ふるってご参加ください。

*詳しくは、4頁の記事とツアーの案内などを参照ください。

大会の発言から 多様なとりくみを会員以外のひとにも呼びかけて 日本AALA大会までに70名を突破!

奈良県 AALA 理事長 宮城恭子

奈良県 AALA は 2003 年 10 月 18 日、13 名の会員で再建再出発しました。創立結成に参加した古老が、地方組織のあり方について「全国の提起をよく学びよく分かり、召集があれば全国的集会にも参加する、財政はキチンと確立し発展させる」ことが大切であると強調されたことを胸に刻んであゆみだしました。

月 1 回の理事会の定期開催、毎理事会時の 30 分学習を重視。機関紙の配布体制を整え、お互い顔の見える会にしよう、楽しく学習・交流ができるようにしよう、売って喜ばれる物品販売で健全財政にしようとして努力しました。

活動は、大きくて力強い大阪兄さん、賢くて優しい京都姉さんから学びながら、奈良独自の活動を心がけました。

名称も「ナラーラ」と親しみやすいものにし、ロゴマークもつくりました。ロゴマーク入りの T シャツは評判がよく、販売もしています。入会の葉もナラーラ独自のものをつくり、パソコンに保存し、いつでも新品がとり出せるよ

うにしています。

また、「ナラーラニュース」を隔月で発行、「プログ NARAAR」は適宜更新して最新のニュースを一般社会にアピールしています。

最近とりくんだ行事としては、「丸ごとアフリカ講演会」と称して、4 時間半にわたる高林先生の講義、

ウイグルの歌と踊りの鑑賞、演劇「普天間」上演実行委員会参加、尾崎美紀氏による中東問題学習会など。今年の納涼会では内モンゴルのホトランガさんが馬頭琴の演奏や歌の披露。やさしい風が吹き渡り、馬が群れて走り、いななき、鳥の群れが飛び立つさまなど、自在に馬頭琴が奏で、みんなでうっとり聞きほれました。

このようなとりくみには必ず新聞折込の宣伝をし、会員以外の人にも参加を呼びかけます。行事のたびに新しい人が参加し(約半数が非会員)そのなかから新会員も生まれま

す。世界を知り、学び、人の輪が広



納涼会で「内モンゴル、ホトランガさんの馬頭琴の演奏」を聞く参加者

がってゆくナラーラの活動は、会員から「やっていて楽しい、今回もよかった」ほかの人からは「いつもなんや楽しそうに独自の視点で取り組んでいるね」とほめられる存在です。

「AALA 大会までに 70 名を突破する」目標を達成できたので、気をよくしてさらに楽しいとりくみをつよめ、「世界を知って日本を変えよう」と非核・非同盟の平和な日本をめざし、当面「沖縄平和のスタディ・ツアー」を成功させること、「慰安婦問題を市民運動に」を合言葉にパネル展をひらくための案を練っているところです。

日本 AALA 大会 私の見た

日本 AALA 大会に来賓で参加された方々に聞きました。



8月12日ベネズエラ大使館にて

ベルダ・カッペラー
ベネズエラ・ボリバル共和国 一等書記官

今回、私にとっても大変いい体験をさせていただいた。熱い思いを感じた。

両国の連帯を強めることは、世界の平和に通じる。大使にもそのことを伝えた。

日本 AALA との連帯を強め、平等、主権の尊重、核のない平和な世界をめざす課題を追求していきたい。

日本 AALA も貢献した！ 国際世論が、シリアとイラン問題で “軍事から外交”への動きをつくる

シリアへの軍事攻撃を阻止、イランの核開発問題でも話し合いがはじまる

“軍事から外交へ”の歴史的な出来事が起きています。

一つは、シリアの化学兵器問題で、シリアへの軍事力行使に踏み切ろうとしたオバマ米政権が、内外から孤立し、国連の枠組みに立ち戻らざるとえませんでした。そして、9月27日、国連は満場一致で、①化学兵器の使用を糾弾し、化学兵器廃棄を国際管理下行う。②シリア全勢力が参加する形での内戦終結に向けた国際会議開催をめざす等の決議を採択しました。

もう一つは、9月27日に、オバマ米大統領とロウハニ・イラン大統領が、イランの核開発問題について電話で協議をいたしました。イラン革命以来、実に34年ぶりの会談であり、イランの核開発問題で、アメリカを後ろ盾にするイスラエルが軍事攻撃を公言しているなかでの会談だけに、画期的なものです。さらに、国連常任理事国などとの話し合いもはじまりました。

今後、紆余曲折があるにしても、国際社会が一致して国連憲章の枠組みに立ち戻った意義は極めて大

きく、国際問題を平和的に交渉で解決せよとの国際世論は、確実に大きくなっています。

非同盟諸国首脳会議参加の NGO としてがんばる

この世論の背景には、軍事同盟解消や核兵器廃絶に取り組んで来た非同盟運動の努力があります。日本 AALA は、非同盟諸国首脳会議に日本で唯一参加できる組織として、奮闘してきました。

■いち早くシリア問題での声明—国連が同趣旨の決議を採択

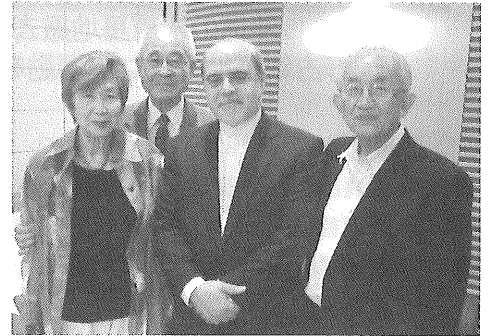
8月29日、日本 AALA はシリア問題でいち早く声明を出し、日米英仏とシリアの大統領や首相に送付しました（日本 AALA 機関紙 10月号 5頁）。

ここでは、化学兵器の問題だけでなく、シリアの内戦問題についても「問題の根本的な解決には、シリアの民族自決権を尊重し、政治的・外交的な手段による解決に、最大限努力することが重要です」と要求しました。国連決議の内容は、この趣旨を盛り込んでいます。

■イラン大使や外務省高官と数回の話し合い

昨年8月の非同盟諸国首脳会議で、日本 AALA 代表団は、核兵器と軍事同盟をなくす努力を、さまざまな方法で、各国代表団にはたらきかけをし

ました。会議後にはイラン外務省を訪問してアジア局の責任者とも話し合いをもちました。



イラン大使館を訪問

また、日本 AALA として、その前後に、駐日イラン大使と3度にわたる話し合いをしました。そのなかで、日本 AALA の軍事同盟反対や核兵器廃絶の取り組みを紹介するとともに、イランが核疑惑を晴らす努力をすること、非同盟諸国会議の議長国として「テヘラン宣言」などの実現に努力する事を要請しました。

■日本 AALA の大会で、イラン大使が核兵器廃絶の努力を約束



日本 AALA 大会で挨拶するイラン大使

7月の日本 AALA 大会には、駐日イラン共和国のナザルアハリ大使が来賓挨拶のなかで、核兵器廃絶及び中東非核地帯構想に努力すること国際公約と非同盟諸国首脳会議の公約を守ることを約束しました。



テヘランのイラン外務省を訪問

日本 AALA の 存在意義を発揮し

憲法を守り生かし、東アジア

学習と連帯ツアー

1月9日～12日

沖縄と熱く連帯するツアー

沖縄の米軍基地撤去と
辺野古新基地許さない運動を支援する

目的

- 沖縄 AALA との交流と組織強化
- 軍事基地撤去、オスプレイ反対闘争支援
- 辺野古への米軍基地建設反対する名護市政を守り発展させる活動
- 戦跡めぐり（オプション）

日程

■ 2014年1月9日（木）～12日（日）3泊4日

規模と費用

■ 羽田発 20名、79,000円

■ 大阪発 20名、76,500円

* 詳しくは、チラシを参照

3月中旬予定

アセアンを学び連帯するツアー

東南アジアの平和の共同体づくりを学び、
現地の人々と交流・連帯する

目的

- 非同盟運動、アセアン、TAC の研究
- 現地の平和団体・NGO との交流

日程

3月中旬 6泊7日ぐらい

訪問先

インドネシア、マレーシア

* 詳細が決まり次第、チラシでお知らせします

訃報

上村年廣さん

長年、日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯運動に献身されてきました愛知県 AALA 理事長の、上村年廣さんが、9月19日に逝去されました。謹んで哀悼の気持ちを込めお知らせします。

なお、10月13日の日本 AALA の常任理事会では、生前のご活躍への感謝とご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

第1回常任理事会で 大会方針を具体化

10月13日、日本 AALA の第1回常任理事会を開催し、7月の大会決定の具体化を話し合いました。そのおもな内容を掲載します。

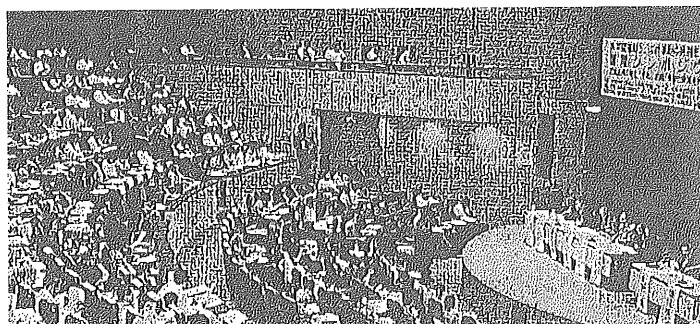
国民のなかに広く打って出て、会員拡大と結合して、成功させましょう。

二大

6月中旬頃

国際シンポジウム

東アジアに非核と平和の共同体建設を



2001年開催の「国際シンポ」（早大国際会議場にて）

目的

東アジアの非核・非同盟運動の展望を、世界の流れやアセアンの運動と日本国憲法のなかでさぐる。

■ 6月中旬を目途に開催

■ メイン集会は、東京で開催。大阪での開催も検討（アセアン関係者の報告など）

構想

内外の著名な政治家や研究者を招請しておこなう。

【1部】 アセアン関係者からの報告講演

【2部】 パネルディスカッション

規模

東京は500人以上

企画

代表理事、国際委員会、学術委員会、都道府県組織の代表で、内容を検討する

アの非核と平和の共同体づくりに貢献しよう



企画

10月～12月

日本縦断、連続ブロック学習集会

21世紀の本流・非同盟運動と日本 AALA の存在意義を広げる

目的

- 非同盟運動と日本 AALAについて理解と確信を広げる
- 県組織の拡大強化を集中的に進める

時期

10月～12月にかけて、月に2ブロック会場を目安におこなう

開催ブロック

九州、四国 中国、信越北陸、東北、北海道

講師

非同盟諸国の駐日大使と日本 AALA の2人

- ブロックごとに実行委員会をつくり、企画やとりくみをおこなう

組織の拡大強化と財政確立

7月の理事会までに5千人の会員を オスパールコーヒの普及を

- 14年7月までに5000人の会員と未組織県に組織をつくる
- 財政確立のために、オスパールコーヒの普及と販売を組織的におこなう。また、沖縄のシークワサーの扱いを進める

安倍内閣の暴走ストップ

「戦争をする国」の体制づくりなど、 安倍内閣の悪政を阻止しよう

常任理事会で、次の趣旨の決議を採択しました。この方針で頑張る。

- ①「戦争をする国」の体制づくりである「国家安全保障会議設置法」「秘密保護法」「集団的自衛権」などの企てに断固反対する。
- ② 原発再稼働、社会保障改悪、TPP、消費税増税などを阻止する。
- ③ 憲法を守り生かし、国民の暮らしを守ると共に、安保廃棄、米軍基地の撤去、非核非同盟の日本の建設に奮闘する。
- ④ 非同盟諸国首脳会議に参加し、非同盟諸国と連帯して来た存在意義を生かして、東アジアに非核と平和の共同体を実現するために努力する。

元日本軍「慰安婦」問題の早期解決に がんばろう

正しい歴史認識を広め、元日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざし、次のとりくみをする。

- ①都道府県で学習会や宣伝を企画する
- ②政府などに、多様なかたちで早期解決を働きかける

核兵器廃絶と反原発を重層的に とりくもう

- ①核兵器廃絶、原発ノーの共同を強化する
- ②世界に、福島第一原発の現状と原発の危険性を伝え、原発ノーの国際連帯運動を進める
- ③北東アジアの非核化の研究と運動を進める

11月15日～17日

日本平和大会へのご案内

「憲法をいかし、平和なアジアを～基地も軍事同盟もない日本へ」をテーマに、2013年日本平和大会が開催されます。

- | | | |
|-----|--------|--------------|
| 15日 | 13時 | 国際シンポなど |
| | 18時30分 | 開会集会 |
| 16日 | 10時 | 分科会 |
| 17日 | 10時 | 閉会集会とピースパレード |



日本青年館でハルモニたちと交流する青年

ハルモニから若い世代へ 日本軍「慰安婦」問題を考えるつどい (9/23 日本青年館)

若者たちが直接ハルモニたちの訴えを聞くことで、若い世代に「慰安婦」問題と正しい歴史認識を引き継ぐ絶好の機会にしたいと開かれました。

高校生や大学生を含む 300 人を超える参加者で集会は大成しました。

ハルモニたちは日本語まじりで証言し、「私たちが死ぬ前に謝罪と賠償を！」と訴えました。20 代の参加者からの「私たちはハルモニのことを忘れません。日本政府に解決を迫る行動をしていきたい」という発言に、会場は大きな拍手に包まれました。

ナヌムの家のハルモニを迎えての院内集会 (9/24 参議院議員会館)

3 人のハルモニたちは、前日の疲れも見せず、力強く訴えられました。「なぜ、この場に安倍首相がいらないのか。首相にこそ聞いてほしい」と発言し、300 人を超える参加者を見て「解決への希望をもつことができました」と語られました。

キムハクスン 金学順さんの証言映像が上映される

1994 年 10 月、埼玉県教育会館でおこなわれた集会（主催：埼

政府は日本軍「慰安婦」問題の早期解決を

韓国のナヌムの家で暮らす被害者 3 人とスタッフの方々が日本軍「慰安婦」問題の一刻も早い解決を願い、高齢を押し、9 月 22 日から 29 日まで来日し、集会で訴えられました。

玉「従軍慰安婦」問題署名推進委員会、埼玉 AALA) で、金学順さんが 2 時間に及ぶ証言をされました。そのビデオを短く DVD 化したものです。貴重な歴史的証言を埼玉 AALA が保存していました。あらためて「慰安婦」制度の類を見ない残虐性が伝わる証言でした。

日本 AALA は、主催団体の一員として両日の集会成功のために尽力しました。

(埼玉 AALA 常任理事 柴田広子)

3 人のハルモニを迎えて 日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす「近畿のつどい」 (9/28 京都)



ハルモニを迎えて 京都集会

9 月 28 日、「ナヌムの家」から 3 人のハルモニを迎えて、日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす「近畿のつどい」が京都で開かれました。

朴玉善^{パクオクソン}さん (91 歳)、李玉善^{イオクソン}さん (87 歳)、姜日出^{カンイルチュル}さん (86 歳) は、拉致され暴行を受けたときの様子などをリアルに語りました。「15 歳だった。怖くて泣くだけだった」「慰安所は屠殺場と同じ。たくさ

んの少女が死んでいった」と地獄の日々を振り返り、「安倍に会いにきたのになぜいけないのか」と語られる内容から、ハルモニたちの悲しみ、悔しさ、怒り、そして誇りを取り戻し名誉の回復をという強い意志が伝わってきました。そして、「日本のみなさんに会えてうれしい」の言葉に胸が震えました。

満州に置き去りにされ、2000 年の中韓の交渉で韓国に戻ることができたが、「死亡届が出されていて戸籍を回復させるのが大変だった」「両親・兄弟姉妹の身寄りも亡くなっていた」と、60 数年を経て今に至るお話をしました。その事実をどう受け止めるのか、私の頭と胸はいっぱいでした。

意見交流で大阪 AALA の取り組みを報告するつもりでしたが、気持ちがまとまらず、大阪市議会で「意見書」を採択させたこと、ソウルの日本大使館前の水曜デモに合わせて街頭宣伝を続けていることを報告するのが精一杯でした。

予想を超えた 300 人あまりの参加者、声をかけたら参加してくれた若者たちの姿に勇気ももらい、ハルモニとみんなが一緒に「故郷の春」「アリラン」を歌った時、1 日も早く日本政府が謝罪し、歴史の事実に向かって向き合うよう、運動を広げ強めなければと思いました。

(日本軍「慰安婦」問題の早期解決をめざす大阪の会事務局長 門 晶子)



東京・西東京支部

総会—記念講演を受けて—
新加入者も

胡弓よりもややおおらかな音色の二胡合奏の響きが会場を満たしました。

「蘇州夜曲」「夜来香」、楊智二胡楽団による日中7曲の歌曲の演奏で始まった2013年度支部総会。

16名が参加しました。(9/28)

第1部は小松崎榮・日本 AALA 代表理事の「非同盟運動と日本国憲法は、21世紀の本流」というテーマでの約90分に及ぶ記念講演。

第二次世界大戦後の世界の平和を目指す流れをたどりながらバンドン会議と非同盟運動の歴史、日本 AALA の活動と存在意義を克明に跡づけました。

ピラを見て初めて AALA の集まりに参加したという人もあり、「知らなかった世界の現状がよく分かりよかったです。日本国憲法は「世



界の宝” という意味が、より深くわかった。世界のことを知ると、平和勢力が広がっていることに力強く思った」などの感想が寄せられました。

日本 AALA への加入申し込みが1名あり、参加者からのカンパもありました。

広島

世界を知って日本を変えよう！
会員50人を実現しよう！
—会員も増やす—

広島 AALA の2013年度の総会を9月14日にひらきました。

2010年に再建総会をひらき、ようやく3年目を迎えるところですが、今年は代表理事の小松崎榮さんに来ていただき「激動する世界と日本—非同盟運動と日本国憲法は、21世紀の本流—」と題して

記念講演をしていただきました。豊富な資料に基づいた話に引き込まれ、もっと時間がほしいところでした。「武力による威嚇、または武力の行使を慎み、常に締約国間で友好的な交渉を通じてその紛争を解決する」というTAC第13条を読んで、まさに日本の憲法9条が掲げている精神そのものであり、実際これに基づいて国際政治が動いていることに感動しました。世界中で今や軍事同盟を結んでいるのは、日米、米韓、米豪、NATOの4つしかない。それ以外

の国は軍事同盟を結ばない非同盟の国々。日本のマスコミを通じては、こんな世界の動きはなかなか伝

わってきません。

119カ国の首脳が集まった昨年の非同盟首脳会議では、各国代表に渡したパンフを見て、アメリカの軍事基地には驚きの声が上がりました。私たちの運動には励ましの声も寄せられ、外国のマスコミ取材攻勢に遭うなど AALA 大活躍の報告も心躍るものでした。

今回は会員以外の人にもぜひ世界の状況を知ってほしいと、手分けして声をかけたので、講演には30人近くの参加があり「たいへんよかったです」という感想が寄せられました。その場で1人が入会し、現在の会員は29人です。

総会はこの1年の運動のまとめと、会員をどう増やしていくか議論をしました。

講演を聞いて感激した人、憲法を守りたい、軍事同盟はなくしたいというまわりの人びとに、今後積極的に声をかけ、総会で決めた50人の会を早く実現するためにがんばる決意で総会を終わりました。

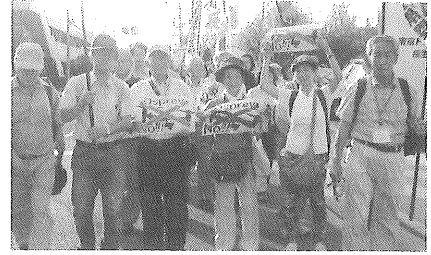


おしらせ

事務職員(パート)として中村恭子さんが10月より勤務することになりました。

横田基地もいらない！ 沖縄とともに声をあげよう

熱気あふれた 10.12 横田集会



デモ行進する AALA の仲間

米軍横田基地近くの会館で、「横田基地もいらない！ 10.12 市民交流集会」がひらかれ、横田基地周辺をデモ行進しました。

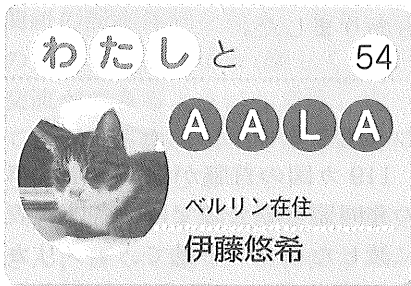
集会は、安倍内閣が改憲への暴走や、横田基地へのオスプレイ配備が急浮上したことで、緊張のなかでとりくめました。会場は950名の参加者で満席、熱気が溢れる集会になりました。

「東京のオキナワ・米軍横田基

地 日米地位協定入門」と題した講演のなかで元琉球新報論説委員長前泊博盛さんは、「主権者が声をあげなければ、国民の権利・生命・財産が脅かされ、米軍の訓練の標的にされる」と警告しました。集会実行委員会の窪田一忠事務局長は、基調報告で「オスプレイの横田基地配備に対し、反対をあげる自治体が広がっている」「配備反対の一点で幅広い共同をつくる

う。また、日米安保条約廃棄を求める運動の輪を広げよう」と訴えました。

そのなかで、非同盟首脳会議に出席した日本 AALA の代表が、日本の首都にこのような米軍横田基地があることを知らせると各国の代表が驚いたことを紹介し、実相を内外に知らせることの大切さを強調しました。



選挙公約 脱原発が前提

9月末、ドイツでは連邦議会選挙が行われました。メルケル首相が率いるキリスト教民主・社会同盟が過半数近い議席を取り、第1党となりました。今回の選挙で出された各政党の公約にはエネルギー問題も含まれていました。広報誌によると、すべての政党がエネルギーの転換について主張していました。これは、福島原発事故を受け、メルケル首相が決断した脱原発の方向性が主要政党の前提になっているということだと感じました。

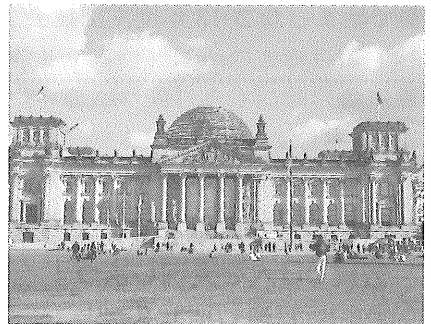
日本では原発が再稼働され、安

倍首相が原発保持と輸出推進を明言し、オリンピック召致の演説では「状況はコントロールされている」などの虚言をのべるという事態を考えると、どちらの国で原発事故が起こったのだろうと首をかしげてしまいます。

ドイツの国会議事堂に行くと、再生可能エネルギーを活用している様子がよくわかります。ドーム型の天井はガラス張りで日光を取り入れやすくなっています。ソーラーパネルも設置されています。地下には温かい空気と冷たい空気をためるタンクがあり、夏は冬にためた冷たい空気を館内に送り、冬はその逆の作用をします。館内で使用する電力は自分たちで供給し、余った分を売っているそうです。

ベルリンは緑が多いです。至るところに公園があり、主要道路は直線で幅があり、街路樹が茂っています。暑い空気が街にたまらない街づくりをしています。

ドイツの鉄道会社も脱原発政策



再生可能エネルギーを活用している国会議事堂

に呼応して2050年までにはすべての電力を再生可能エネルギーにするの目標を出しています。

日本でも、毎週脱原発デモが行われているように、ドイツでは1969年から反原発運動が続いています。その運動が政治を動かしているのだとも感じます。

今回でこの連載は終了です。ドイツは「おかしい」と思ったことにはすぐ声を上げる社会の雰囲気が出ています。AALAの活動の中でも世界について知ると同時に外から日本を見る視点を養えると感じています。

編集・発行

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 JAPAN ASIA AFRICA LATIN AMERICA SOLIDARITY COMMITTEE



住所 〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-11-7 第33 宮庭ビル 4階

電話：03 (5363) 3470 HomePage <http://www.japan-aala.org/>

FAX：03 (3357) 6255 E-mail：info@japan-aala.org

振替 00110-6-72434 毎月1回1日発行1部150円（送料60円）